# 教育制度論（新課程）の授業評価と授業時間外学習の促進

教育学専修　露口健司

## Ⅰ．授業目標と内容

本授業の目標は次の 2 点である。すなわち，①教育の社会的，制度的又は経営的な事項についての基礎概念を理解し，説明できること，②今日の教育政策・教育改革の動向についての理解を踏まえ，それらの意義・効果や問題点について，自らの考えを論述・表現できることである。DP については，主として「2A　教育をめぐる現代的課題」「2B 教育の現代的課題への対応方法」に対応している。

授業内容等についてはシラバスに明記する通りである。教育目標、教育課程、教科書制度、教員の服務、教員研修、教育委員会制度、学校経営等を、法律の視点から理解する授業となっている。『教育のための法学』（ミネルヴァ書房）という，筆者も作成に参加した教科書を使用している。

学習形態は、①課題提示（5 分），②講義（45 分），③個別活動（10 分），④グループ協議（15 分），⑤全体発表（10 分），⑥まとめ（5 分）の構成としている。言語活動を豊富に取り入れたアクティブラーニング型の授業となっている。

## Ⅱ．授業評価

第 15 回目の授業終了時に，DP 対応学生認識調査を実施したところ，次頁の表に示す結果が得られた。作業途中でチャイムが鳴ったため，自宅での入力を可とした。これが原因と思われるが，回収率が 50%程度（回答 42/受講 85）となってしまった。留意点は以下の 3 点である。

第 1 に，本授業において最も重要な DP である「2A　教育をめぐる現代的課題」「2B 教育の現代的課題への対応方法」については、それぞれ高い評価を得た。両項目ともに，「とてもそう思う」が 81%（34 名），「ある程度そう思う」が 19%（8 名）であり，肯定率は 100%であった。言語活動を取り入れたアクティブラーニングの効果であると考えられるが，回収率が低いために，手放しでは喜べない。

第 2 は，「5A 専門的職業人としての使命／責任感」が，やや控えめな評価となっている点である。授業の中では教員の服務や研修に関する法令の学習を通して，この点を強調したつもりであったが，学生を大いに刺激したとは言えない。今後の実習科目等の経験を通して高まる要素なのかもしれない。

第 3 は，授業外学習の問題についてである。平均値を見ると，授業外学習・課題（1.06 時間），授業時間外・自発（0.75 時間）であり，あわせても 1.81 時間である。授業外学習の実践と今後の課題については，次節において詳細に述べる。

第 4 は，読書量の問題についてである。本授業に関連する読書時間は，0.29 時間と極めて短い。無回答の学生を含めると，ほとんどの学生が関連図書の読書にまで至っていないであろう。教科書には，リーディングリストが掲載されているため，授業に関する発展的な読書を今後は勧めたい。ただし，現行の図書館の整備体制では，授業外読書の推進は困難であると思われる。ハード面の整備とあわせて検討する必要がある。

## Ⅲ．時間外学習の工夫（本年度）

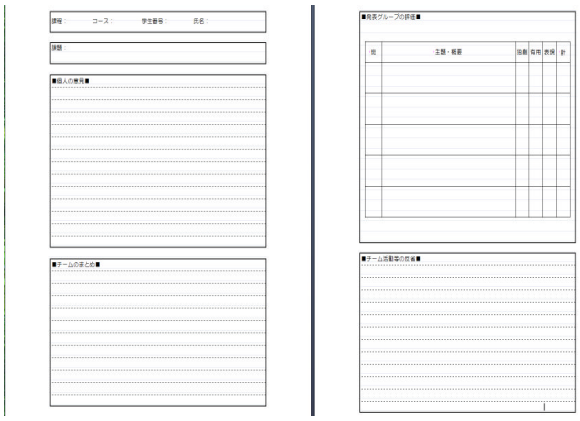
本授業では，授業時間外学習を促すために，以下の 3 点の工夫を行っている。

第 1 は，シラバスへの授業時間外学習の明記である。次回の学習内容の予習は，教科書を精読することで可能となる。授業の終わりには毎回，次週の学習テーマと予習すべき章を告知している。

第 2 は，配布資料の事前配信である。予習を促進するために，次回配布プリントを，事

前に修学支援システムによって配信している。プリント（パワーポイント）には，1 頁目に次回の学習課題が明記されているため，意欲的な学生は，個人活動の記述内容を事前に調べ，考えている。

第 3 は，ワークシートの完成作業である（下図参照）。本授業では，毎回，B4 版 1 枚のワークシートの作成が求められている。B4 版 1 枚を 4 領域に区分し，それぞれ「学習課題」「個人の意見」「グループ協議の内容」「発表概要と評価」「授業感想」を書き込む。授業中にワークシートが完成しない場合は，自宅において書き込む作業が必要となる。「授業感想」は原則自宅で作成するようにしているため，ほとんどの受講生は，自宅学習に従事することとなる。



授業で使用するワークシート

## Ⅳ．時間外学習を促進するための今後の方策

以上のような工夫を試みているものの，本授業は，授業時間外学習が十分に確保されていない。そこで，次年度以降は，以下の工夫により，授業時間外学習のさらなる促進を目指す。

第 1 は，テストの準備にかける時間の増加である。現在テストでは，教育実習，教員採用試験，教職就任以後数年間に求められる基本的な法令知識の確認，法令を活用しての現象記述・操作能力を確認している。内容を厳選しているため，難易度は高いとは言えない。テストの難易度をもう少し高めることで，授業時間外学習の時間を増やしたい。

第 2 は，予習内容に基づく簡単なグループ協議を，学習課題の提示の際に行う実践である。予習をしておかないと，グループ協議に参加できない状況を設定することで，学生の予習に向かう意欲も高まるであろう。

第 3 は，ワークシートに占める「感想」分量の増加である。現在のワークシートでは，右下の限られた箇所となっているが，ワークシート改訂によって，この部分をさらに拡充したい。

**表　DP 対応学生認識調査結果の度数分布（%）と肯定率（N=42）**

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 肯定率 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1A　教育に関する確かな知識 | 88 | 12 | 0 | 0 | 100 | |
| 1B　自分の専門分野の知識 | 67 | 26 | 5 | 2 | 93 | |
| **2A　教育をめぐる様々な現代的諸課題** | **81** | **19** | **0** | **0** | **100** | |
| **2B　教育の現代的課題への対応方法** | **81** | **19** | **0** | **0** | **100** | |
| 3A　教育活動に取組むための技能 | 76 | 21 | 2 | 0 | 97 | |
| 3B　教育活動に取組むための表現力 | 71 | 26 | 2 | 0 | 97 | |
| 4A　自己の学習課題の明確化 | 67 | 33 | 0 | 0 | 100 | |
| 4B　理論と実践を結ぶ主体的学習 | 57 | 40 | 2 | 0 | 97 | |
| 5A　専門的職業人としての使命／責任感 | 55 | 43 | 2 | 0 | 98 | |
| 5B　多世代にわたる対人関係形成力 | 43 | 41 | 7 | 10 | 84 | |
| | 0 | 0.5 | 1 | 2 | 3 | M |
| 授業外学習（課題） | 5 | 36 | 40 | 10 | 10 | **1.06 hrs** |
| 授業外学習（自発） | 31 | 26 | 29 | 10 | 5 | **0.75 hrs** |
| | 0 | 1 | 2 | M | | |
| 自発的読書 | 81 | 10 | 10 | 0.29 | | |
| 自発的活動 | 90 | 7 | 2 | 0.12 | | |